

## コロンビア政治情勢（9月分）

### 1 概要

#### 【内政】

- 5～12日 E L Nが人質を解放
- 13日 HRWが憲法裁判所に書簡を送付
- 19日 コカ栽培地の増加
- 19日 米国がF A R Cをテロリストグループとしての認定を維持
- 27日 ベネズエラをE L Nとの和平交渉から除外

#### 【外交】

- 5～7日 トウルヒージョ外相の米国訪問（於：ワシントン）
- 10日 ドウケ大統領のパナマ公式訪問
- 12～14日 アルマグロO A S事務局長の当地訪問
- 13日 国連安保理事会がコロンビア検証ミッションのマンデート延長を承認
- 25日 ドウケ大統領とトランプ米大統領の会談
- 26日 ドウケ大統領の第73回国連総会における一般討論演説
- 26日 6か国がベネズエラを人道に対する罪の疑いでI C Cに共同書簡を発出

### 2 本文

#### 【内政】

##### 1 E L Nが人質を解放

5日、E L Nが8月8日にアラウカ県で誘拐した軍人3名を解放したが、同日ノルテ・デ・サントアンデール県の石油パイプラインに爆破攻撃を行った。また12日、E L Nはチヨコ県で警察を含む6名の人質を解放した。ドウケ大統領は、人質のさらなる解放及び国民・国家に対する攻撃の停止を望んでいる旨述べた。

##### 2 HRWが憲法裁判所に書簡を送付

人権NGOヒューマン・ライツ・ウォッチ（HRW）は、民主中道党が提案した和平特別司法（J E P）の訴訟法に関する変更点について、戦争犯罪及び人道に対する罪に関する国際法を遵守していないとして、憲法裁判所に書簡を送付した。またHRWは、国際刑事裁判所（I C C）での審理の可能性を示唆した。

### 3 コカ栽培地の増加

国連は、2017年のコロンビアのコカ葉栽培地が過去最大を記録し、依然としてコカインの主要生産国となっている旨発表した。国連薬物犯罪事務所（UNODC）によると、2017年のコカ葉栽培地は前年比+17%となり、栽培面積は約17万1千ヘクタールと見積もられている。マティアセン・UNODCコロンビア事務所代表は「違法薬物によって巨額の資金が動いている事に深い懸念を表明する、コカ栽培地の増加要因の一つに違法作物の危険性に対する認識の欠如が挙げられる。」旨述べた。

### 4 米国がFARCをテロリストグループとしての認定維持

米国は、2017年に発表した報告書でFARCを引き続きテロリストグループとしての認定する旨発表した。FARC及びELNは、20年にわたりテロリストグループとして認定されている。

### 5 ベネズエラをELNとの和平交渉から除外

27日、ドゥケ大統領はELNとの和平交渉に関し、同交渉の保証国であるベネズエラを除外する旨発表した。

## 【外交】

#### 1 トウルヒージョ外相の米国訪問（於：ワシントン）

5～7日、トウルヒージョ外相は、ベネズエラ移民問題、二国間関係の強化、麻薬問題、地雷除去及び和平プロセスに関するワーキングアジェンダを進展させるため、米国を訪問した。

#### 2 ドゥケ大統領のパナマ公式訪問

10日、ドゥケ大統領は、バレラ・パナマ大統領の招待を受け、パナマを公式訪問した。同訪問では、国境地帯における安全保障、地域の協働可能性及び両国間の通商分野の差異を埋めるためのメカニズム設置を模索などの内容が盛り込まれた共同宣言が発出された。また、ベネズエラ情勢に関し、ドゥケ大統領は、ベネズエラの政治体制が深刻な危機を惹起している事を国際社会は認識すべきであると主張した。さらにバレラ・パナマ大統領は、ベネズエラに対し、民主主義への回帰及び人道危機への対応を要請した。

#### 3 アルマグロOAS事務局長の当国訪問

12～14日、アルマグロOAS事務局長が当地を訪問し、ドゥケ大統領及びトウルヒージョ外相と会談、またノルテ・デ・サントアンデール県ククタ市への訪問を行った。同会談の主要テーマは、ベネズエラの移民流入問題であり、「ア」事務局長は「コロンビアの積極的な移民受入れ政策は地域調整が必要不可欠である。」旨述べた。また、14日、「ア」

事務局長は、ベネズエラ国境近くに位置するククタ市を訪問した。同訪問で「ア」事務局長はマドゥーロ政権が人道に対する罪及び人権侵害を引き起こしているとして、同政権への対応策に関し、軍事介入の可能性を排除しない旨述べた。

#### 4 国連安保理事会がコロンビア検証ミッションのマンデート延長を承認

13日、国連安保理事会は全会一致でコロンビア検証ミッションのマンデート延長を承認した。延長期間は2019年9月26日までとなっている。

#### 5 ドウケ大統領とトランプ米大統領の会談

25日、第73回国連総会の機会にドウケ大統領は米国トランプ大統領の会談を行った。同会談では、麻薬取引犯罪及びベネズエラ問題が話し合われ、トランプ大統領は「ベネズエラを注視している。同国ではおぞましい出来事が起きている。同国の状況は破滅的かつ危険である。コロンビア及び隣国の観点から述べても到底容認できる状況ではない。コロンビアを含む多くの国がベネズエラからの避難民を受け入れている。彼らは文字通り飢えに瀕しており、他国に多大な影響を与えている。避難民を受け入れている国々は、具体的な方策は存在していないが、全力を挙げて問題に取り組んでいる。」旨述べた。

#### 6 ドウケ大統領の第73回国連総会における一般討論演説

26日、ドウケ大統領は第73回国連総会において一般討論演説を実施した。同大統領は、主に和平プロセス、薬物問題、汚職問題、経済活性化及びベネズエラの人道危機及び避難民問題に関して演説を行った。

#### 7 6か国がベネズエラを人道に対する罪の疑いでICCに共同書簡を発出

アルゼンチン、カナダ、コロンビア、チリ、パラグアイ及びペルーは、ベネズエラが人道に対する罪を犯している疑いがあることから、国際刑事裁判所（ICC）に同罪に対する捜査を要請する共同書簡を発出した。